

「フィジカルインターネット実現会議・化学品ワーキンググループ」が共同鉄道輸送を実証、同一コンテナでの往復・連続運行の可能性を確認

経済産業省・国土交通省が主導する「フィジカルインターネット実現会議」内に設置されている「化学品ワーキンググループ」(座長:流通経済大学 矢野裕児教授)は、2025年8月から2026年1月の期間で東海・中国地区における鉄道輸送による共同物流実現に向けた実証実験を行い、同一コンテナを用いた往復の連続運行が可能であることを確認しました。あわせて、モーダルシフトによりCO₂排出量57%削減などの顕著な効果を確認することができました。

「化学品ワーキンググループ」には、現在、荷主事業者、物流事業者を中心とする86企業・1大学、日本化学工業協会、石油化学工業協会、経済産業省・国土交通省の関連各部署等が参加しており、東ソーは、三菱ケミカル株式会社、三井化学株式会社および東レ株式会社とともに事務局を務めています。

詳細については添付資料をご参照ください。

 **【添付資料】共同鉄道輸送を実証、同一コンテナでの往復・連続運行の可能性を確認～モーダルシフトによるCO₂排出量57%削減、ドライバー拘束時間の大幅削減を実現～ (625.1 KB)** 

関連情報

-  **【ニュースリリース】「フィジカルインターネット実現会議・化学品ワーキンググループ」が東海・中国地区での鉄道輸送による共同物流の実証実験を開始**
-  **【ニュースリリース】「フィジカルインターネット実現会議・化学品ワーキンググループ」が2025年度の活動方針を報告**
-  **【ニュースリリース】「フィジカルインターネット実現会議・化学品ワーキンググループ」による共同物流の実証実験結果について**
-  **【ニュースリリース】「フィジカルインターネット実現会議」における「化学品 WG」の設置について ～“2024 年問題”に向けて化学業界の共同物流を加速**
-  **化学品に関する物流の適正化・生産性向上に向けた自主行動計画**

お問い合わせ先

東ソー株式会社 広報・IR室
東京都中央区八重洲2-2-1
TEL:03-6636-3712

お問い合わせフォーム